



迅速な災害対応のために

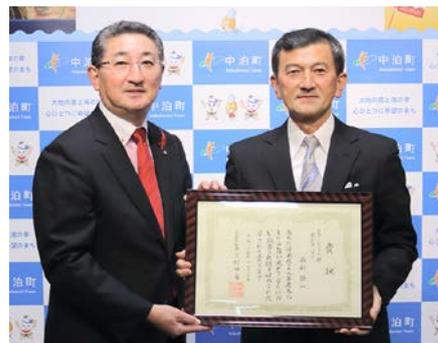
齋勝建設株式会社と協定締結

昨年12月20日(水)、町と齋勝建設(株)(代表取締役社長・齋藤彰浩)が、災害時における応急対策業務の協定を締結しました。濱館町長は「全国で自然災害が発生している。本県でも大いに発生の可能性がある」と災害対策体制の推進について述べました。この協定は、小泊地域に地震や風水害などの自然災害が発生または発生する恐れのある際に、公共土木施設などの被害情報の収集や報告、障害物の除去および応急復旧などを行う内容となっています。より迅速に災害応急活動に取り組むことができ、2次、3次災害を食い止めることにつながります。齋藤社長は「住民の生命と財産を守るため、災害時の道路や河川の復旧などで町に貢献できれば」と話していました。

旨い米準グランプリ受賞

長利謙二さんが町長へ報告

昨年12月20日(水)に行われた平成29年度産「あおもりの旨い米グランプリ」のまっしぐら部門において、長利謙二さん(下豊岡)のまっしぐらが準グランプリを受賞しました。同26日には濱館町長を訪問し、受賞を報告しました。本グランプリは、県産米の更なる評価向上に向け平成27年度から行われています。評価は、成分や整粒歩合を審査する1次審査と、精米・炊飯し、ソムリエが実際に食べて評価する2次審査によって決められます。濱館町長は「中泊町でもこんなに良いお米を作られるということを見事証明してくれた。町全体で、良いお米ができるよう切磋琢磨して行ってほしい」と話していました。長利さんは「昨年は1次審査で落ち、今回こそはという気持ちで作った。このような結果になりうれしい」と感想を述べました。



積み上げられた努力に敬意

県民陸上大会での表彰を報告

青森県民体育大会陸上競技の部で連続して1位となり、大会の発展に大きく寄与したとして町陸上競技協会と個人3人が表彰を受け、昨年10月2日(月)に濱館町長を訪問しました。訪問したのは、5年連続総合優勝を飾った町陸上競技協会会長の加藤則子さん(派立中)、個人種目では5年連続1位となった走高跳の野上千春さん(下高根)、砲丸投の今亜利紗さん(派立上)、10年連続で1位となった砲丸投の川浪貴久さん(薄市上)の4人です。報告を受け、濱館町長は「皆さんの普段の努力に心から敬意を表します。これからも陸上の町として強い中泊町を引っ張り盛り上げてほしい」と話していました。



新たに立てた目標目指して

中里高校で新年立志会

新しい年にあたり、1年の決意を新たにしようと、1月12日(金)中里高校で新年立志会が行われました。全校生徒が参加した立志会では、始めに五所川原市にある山王坊日吉神社の松橋宮司の講話が行われました。宮司は「日本に伝わる風習や伝統には、様々な思いや意味が込められているので、大切にしていけるような人になってほしい」と話しました。次に各学級の代表者が今年の決意表明をしました。勉強や部活、進学した先での目標を発表すると生徒からは大きな拍手があがっていました。その後、全校生徒で餅つき会を行い、つきたての餅を味わいました。参加した生徒たちは「自分が決めた目標なので、達成できるようにがんばっていきたい。餅つきは難しかったです」と楽しそうに話していました。





走り初めで1年をスタート!

元旦マラソン

新年最初のイベントである恒例の元旦マラソン大会が、体育センター前で行われ、約58人が参加しました。開会式中、雨が降るなど天候が心配されましたが、スタート前には雨もあがり、気持ちのいいスタートとなりました。

この日は、濱館町長も参加し、体育センターから津軽中里駅までの往復約2kmを参加者とともに走りました。沿道の住民からは「毎年元旦の朝にマラソン

を見るのを楽しみにしている。町長さんも最後まで頑張ってください」と応援の声が聞かれました。参加者は「今年も元日から体が引き締まった。来年も参加出来るように今年一年健康で過ごしたい」と話していました。

1年間の無病息災を願って

中央公民館がどんと焼き開催

元日にお迎えした年神様を火にのせて天にお返しする火祭り行事「どんと焼き」が1月13日(土)、宝の森広場特設会場で開催されました。氷点下5度と厳しい冷え込みでしたが、天候に恵まれ、約200人が門松やしめ縄、破魔矢、お守りなどを持ち寄りました。妙法寺の山田副住職が祈祷する中、町民や薄市こども園の園児たちは、激しく燃え上がった炎に手を合わせ、煙を浴びながら、1年間の無病息災を願っていました。



昔ながらの遊びを楽しむ

下前でゆきんこまつり

下前地区のすくすくしたまえ館で1月7日(日)、ゆきんこまつりが開催され地元の親子を中心に21人が参加しました。このまつりは、下前地区の母親クラブのみなさんが主催し、地域子どもたちと一緒に巨大カルタや、○×クイズ、ハンカチ落としなど昔ながらの遊びを楽しみました。いっぱい遊んだ後は、みんなでカレーライスをおいしくいただきました。参加した子どもたちは「大きいカルタが楽しかった。ハンカチ落としで走ったら疲れた」と楽しそうに話していました。



自分だけのクリスマスケーキ

子ども会育成連合会がケーキ作り

町子ども会育成連合会が、12月23日(土)日本海漁火センターでクリスマスケーキ作りを行い、40人が参加しました。

子どもたちは、慣れた手つきで生クリームを泡立て、スポンジケーキに塗っていました。果物を散りばめて出来上がったケーキは子どもたちの個性が表れており、みんな満足のいった顔をしていました。参加した子どもたちは「隠し味に中にも苺を入れた。お家に帰って食べるのが楽しみ」と笑顔で話していました。

